

販売店様 各位

雑誌掲載情報

オートバイ 2022年3月号



2月1日発売のオートバイ 3月号にJET Xの試乗インプレッション記事が掲載されております。
記事内容は次項にて紹介していますのでぜひ、商談にお役立ていただければ幸いです。

雑誌情報詳細

オートバイ 2022年3月号

別冊付録1点付き

特別定価1,190円（税込）

モーターマガジン社 詳細ページURL

<https://www.motormagazine.co.jp/ct/17514759>

本件に関する問い合わせ

モータリスト合同会社 SYM販売担当：渡邊

〒144-0055 東京都大田区仲六郷2-41-8

TEL: 03-3731-2388 FAX: 03-3731-2389 MAIL: info@motorists.jp



反転表示のデジタルメーターは横長レイアウトで表示も多彩。パングラフ式のタコメーターも見やすいデザインとなっている。



スマートキーを標準装備。キーフォブにある開錠ボタンでスイッチノブのロックを解除して始動するシステムとなっている。



ステッチも入った高級感のあるシートは、前部部を巧みに絞り込んで足置き性にも配慮したデザインとなっている。



トランクはヘルメットを1個収納可能。後部の給油口はキー不要で開閉が可能なもの。タンク容量は7.5リットルと大きい。

感心したのは操縦性と乗り心地の見事なバランス。前後14インチのホイールにやや細めのタイヤをセットしたこと、ハンドリングが軽くて素直でスラロームのように連続して

切り返しても前後タイヤがバラバラに動く感覚がなく、フレーム剛性の高さを実感できる。加えて前後サスペンションがストローク量を有効に使って衝撃を吸収するから車体がビヨコビヨコ跳ねることがなく、荒れた路面や段差越えでの安定性と快適性が素晴らしい。台湾やヨーロッパのライダーは荒れた路面でも遠慮なく飛ばすから、SYM Mとしては普通の設定なのだろうが、日本の道路環境にもマッチしている。

試乗車は登録した後の新車だったのでブレーキのスト



水冷単気筒のエンジンは振動/騒音とも抑え込まれていてガサ付き感はなく、信号待ち時やクルージング中の感触は日本車にも引けを取らない上質なもの。クラッチが繋がりは始めるのは約3500回転で、全開加速では6000回転後半をキープして140kgの車体を押し出すスポーティーなセッティングになっている。その車格から、試乗前はもつと穏やかな反応を想像していたが、発進停止の多い市街地を俊敏に駆け回れる設定だ。

RIDING POSITION



身長:176cm
体重:62kg

770mmのシート高はPCXやNMAXよりも5mmほど高いが、停車時はシート前寄りに座れば身長150cm台のライダーでも不安はないはず。膝回りに余裕があり、足を置く位置の自由度も高いから体型を問わずにリラックスできる。

SPECIFICATIONS [全長×全幅×全高]2000×760×1115mm [ホイールベース]1350mm [シート高]770mm [車両重量]140kg [エンジン形式]水冷4ストOHC4バルブ単気筒 [総排気量]124.6cc [最高出力]12.6PS/8000rpm [最大トルク]11.17kg-m/6500rpm [燃料供給方式]FI [燃料タンク容量]17.5L [変速機形式]Vベルト無段変速 [ブレーキ形式 前・後]φ280mmディスク・φ220mmディスク [タイヤサイズ前・後]100/90-14・110/80-14

(太田安治)

スポーツテイストと質さの絶妙なバランスが光る!

125~200ccクラスのスクーターを主力商品とし、多くの車種を展開しているSYM。スクーター大国である台湾屈指のメーカーだけに、各モデルの完成度とコストパフォーマンスの高さにも定評がある。この「JET X」が登場したのはかりの新利だ。

車体のサイズはホンダのPCXやヤマハのNMAXよりわずかに大きい程度。ライディングポジションはPCXのように車体に潜り込むようなスタイルではなく、ライダーが上から押さえ込んで積極的に操れるタイプ。ステップフロアの前後まで脚を伸ばすこともできるから、大柄なライダーでも窮屈さは感じないだろう。

水冷単気筒のエンジンは振動/騒音とも抑え込まれていてガサ付き感はなく、信号待ち

SYM 価格:36万3000円

JET X125



フラットなステップフロアではなく、トンネルを備えたセンターフレーム方式を採用して車体剛性を大きく向上させている。



最新のデザイントレンドを踏まえたスタイリングはエッジの効いたシャープなもの。ボディカラーは全3色が用意される。



水冷OHCエンジンは12.6PSを発揮。乗ってみると非常に滑らかで力強く、音も想像以上に静か。日本の交通事情にマッチしている。



フロントブレーキローターは260mm径と大きい。ABSは非装着だが、前後運動ブレーキを採用して制動力を高めている。



逆スラントマスクにLEDヘッドライトで表情は精悍なもの。スモークスクリーンを採用してスポーツムードも高めている。

台湾のSYMが日本市場に投入する最新作がJET X。シャープでスタイリッシュなデザインに加え、新採用のセンターフレームが生み出す剛性感の高い走りもポイント。日本でも大ヒットしそうな注目モデルに早速試乗してみたぞ!

スタイリッシュなボディと爽快な走りの注目モデル!

国内初試乗!

